

2003年7月22日

八幡事業所 Tel. Fax 672-7595  
sawayaka@eagle.ocn.ne.jp  
小倉事業所 Tel. Fax 571-2299  
sawayakakokura@violin.ocn.ne.jp



# さわやか

第78号

発行者  
通院介護センター  
さわやか

## 暑中お見舞い申し上げます

通院介護センター「さわやか」

会長 江頭博幸



現在梅雨前線が、九州を北へ南へと動き、うっとうしい日々が続いています。七月の半ばを過ぎると暑い夏が到来します。九月の彼岸までは、ヒートアイランドの中でじっと耐えなければなりません。これも、自然環境の流れの中では仕方ないことです。

十年以上も続く不景気の中で、世間では、考えられない事件が頻発しています。文化・文明が発展すると、人間の心はすさぶのでしょうか？それとも、文化・文明の発展に人間の心が追いつききれないのでしょうか？貧困が犯罪を助長しているのでしょうか？明るい話のない今日この頃ですが、ボランティアの皆様におかれましては、益々意気高く健康に留意され、ご活躍されることをお祈りいたします。

お陰様で、「さわやか」も、月に千回の送迎が出来るどころまで成長しました。これも、ひとえに、ボランティアの皆様のご支援の賜物と、厚くお礼申し上げます。  
暑さ厳しき折、御身体御自愛くださいませ。



## ローカルニュース

七月十一日の集中豪雨で紫川は恐怖さえ感じる増水。一部の地域で避難勧告が出されるほどの警戒体制でした。

川と道路と田んぼの境もわからない中、野鳥の「かいつぶり」「バーン」（本名かな？黒と黄色の小さな水鳥）や営巣している「あいがも」は下流に流されたものと思っていました。ところが、水が引いた四日後に、どこに避難していたのか、「かいつぶり」のつがいが、仲良く泳いでいました。嬉しくなったのと、自然に生きる知恵と力強さを感じました。



## 悪魔のささやき

健康増進法の施行により、各公共の場所などに喫煙場所が無くなって、喫煙者にとっては肩身の狭い思いがしているところ、七月一日からのタバコの値上げと関係があるかどうかは定かではないが、胃の具合が悪くなり、どう言っ訳かタバコが吸えなくなりました。

朝一番に一応火を点けてみるが、やはり吸う気がしない。

自分の中の天使の声が「止められてよかったネー」と優しくささやき、その一方で、「本当に止めていいのかナー？」と、悪魔の声があまーくささやく。しかし、この出来事を喜ぶのは、だ・れ・だ……？

今、自分の心の中の天使と悪魔の音が戦っている。  
次号へつづく……



# つぶやきカードより

八幡西区 片岸 章子

私はボランティアをして二十三年になる。「さわやか」には六年が過ぎてしまった。

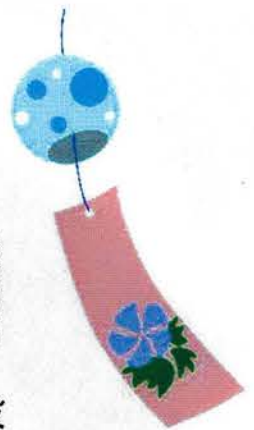
最近支援に少々疑問を感じることもある。でも支援をしないという訳にはいかない。支援をした時、利用者が笑顔や感謝の気持ちで返してくださると、私も嬉しい。自分のした事が明確で分かりやすい。ところがその事が全く裏目に出してしまうことがある。自分のした事が間違っていたのだろうか？無駄だったのではないだろうか？と思い悩むこともある。でも私はボランティアを続ける。どんな事があっても、「もうたいがいやめて。」と言われるまで。



八幡東区 H・K

ボランティアの皆様、暑中お見舞い申し上げます。毎日暑いなかご苦労様です。私はいきいき北九州という介護保険事業所へ手伝いに行っています。八日(火)突然高熱を出し病院へ点滴を受けに行き、本日(七日)まで毎日点滴をしています。原因もわかりません。むしろ悪くなっています。熱は39℃まで上がっています。家内は鬼のカクランと言っております。どなたか私の熱を下げてくださる方はいらっしゃいますか。

皆様くれぐれもお身体を大切にしこの暑さを乗りきってください。



八幡西区 段野 信雄

「さわやか」にお世話になって十ヶ月の新米です。ボランティア活動をしようとする気持ちを書きます。人間は周囲の人々にささえられ助けられて生活し生きています。思えば現役中は会社の同僚又取引先の他社の方々と社会にあつては町内会の方々地域の人、社会の人々に大なり小なり迷惑をかけたなり、援助をいただき恩恵を受けて生活し生き長らえていると思います。

私事ですが、父は七歳、母とは十九歳で死別して両親がなく、孝行したい時には親は無しで二人の子供も成人し独立して少し余裕ができ、今なら親に恩返しができる、と思った時が度々ありました。病院や公園・公共施設、美術・博物館等々で親御さんの車椅子を押したり、また優しくいたわっている姿を見ると羨ましくやるせない気持ちでありました。

親孝行と社会への恩返しを重ね合せてボランティア活動に着目したのであります。ボランティアでも無能な私には何でもござれとはいかず、そんな時に「さわやか」と出会えたのであります。患者さんを両親に見変えて頑張っております。

戸畑区 高倉 徹也

去年の八月のこと、友人宅を出て歩いて家に帰る途中、私の真後ろで「ボカン」とものすごく大きな音が聞こえた。恐怖を感じて振り返ったら、何と百メートル後ろで車がタイヤ四つを上にしてひっくりかえっていた。車は音をたてながら白煙を吐き、やがて煙がやんだら中から二人の若者がはい出てきた。心配したけれどもかすり傷だけだったようです。事故を見ていた人に聞くと、赤信号無視でスピードを落とさず交差点に入って、青信号で入ろうとした車に左側面をこずかれたのと、自分の勢いで2回ほど回転したそうです。いくつものラッキーな偶然が重なって彼らは軽傷で済んだようです。赤信号無視の車は大破、相手の車は前パンパーに擦り傷がついただけ。この大差は誰が見ても『自業自得』で当然の結果でした。事故を起こしたお二人さん、今後は信号無視はやめましょう。次はかすり傷ではすみませんぞ！

## お知らせ

お盆休みは  
**8月13日**  
▼  
**8月17日**  
の5日間です  
よろしく  
お願いします